

平成25年度 事務事業マネジメントシート

事業名	障害者支援施設等通所交通費助成事業			会計	款	項	目	大	小
政 策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	障害者支援課				
施 策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長	小西 和典				

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	障害者就労支援施設に通所する障害者及び保護者	意図	工賃が少ない現状にある障害者及びその保護者の経済的負担の軽減を図り、就労意欲の向上を目指す。
事業内容	障害者就労支援施設に通う障害者に対し、通所のために要した交通費の半額を月5,000円を限度に助成する。			
事業開始から現在までの状況変化	工賃が少ない障害者及び保護者の経済的負担を軽減するために開始した。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		障害者就労支援施設に通う交通費の障害者の延人	198	224	278	人	
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 交通費助成を行い経済負担軽減を行うことにより、就労意欲の向上が図られる。利用者数は、年々増加傾向にある。
事務事業のコスト		平成23年度	平成24年度	平成25年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		4,378,170	5,067,450	5,491,650			
事業費（b）（円）		3,014,490	3,775,410	4,233,990			
うち一般財源		3,014,490	3,775,410	4,233,990			
職員給与費(c)(円)		1,363,680	1,292,040	1,257,660			
人役・職員(人)		0.18	0.18	0.18			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト（円）（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H25)の改善計画	月額助成上限額については、前年同様の5,000円上限とし、障害者の工賃を確保することで就労の意欲確保に取り組む。
今年度(H25)に実施した取り組み	障害者が通所している就労支援施設の協力のもと申請を促し、支給に漏れがないように努めた。

取り組みの課題	現在、月額助成上限額は半額補助で5,000円上限となっているが、依然として障害者の工賃は低いこともあり、今後は、上限額の引き上げも含め検討する。
今後の改善計画	福祉手当見直しによるサービスの充実に関連し、助成上限額の引き上げ見直しが可能か財政的措置を含めあらゆる角度から検討する。